

# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第69号 (2007)

## ∞ ∞ 特集1 韓国渡航 ∞ ∞

### 温かい歓迎をうけて

ソウル交換ED 佐藤 ゆきえ



(都羅山展望台にて)

ソウルクラブとの交換が無事終わりました。2004年6月、埼玉にソウルクラブをお迎えしてその後、直ぐにご招待を受けながら3年を経てようやく実現した交換でした。16名というやや小さなグループでしたが、5日間という短い日程ながら家庭生活を共にし、多くの人々と接してみると、今まで見えなかったことが多数見られた交流だったように思います。

私自身ご多聞にもれず、よく分かっていると思っていましたが、改めて強く印象に残ったことがありました。

「なんとおもてなしの人たちなのだろう！」ということでした。ホストに限らず、デイホストの人たちが、競って私たちを心から歓待してくださいました。グループで何処かに出かけたときでも必ずデイホストの人たちもついてきてくれ、昼食やディナーを「今日は私にご馳走させてください」と代わる代わる申し出てくださるのです。私たちが強引にお願いしてやっと一度だけ、私たちがお

支払いするのを承諾していただいただけでした。そして、そのおもてなしの発想が私たちの想像を超えたものでした。「私は会員であっても普段仕事で忙しく、活動にあまり参加できないからこういう機会に私の出来ることで参加します」というものでした。いくら日本に比べて食事代が安いからと言って15人分の食事代を一人で、事も無げに支払ってくださるのには、ご馳走になった私たちは、ただただ驚くばかりでした。これが韓国人気質なのでしょうか。これは、今回私がソウルクラブの多くの会員の皆さんに接したからこそ、初めて分かったことでした。

そして温かく迎える精神、自分の出来ることでFFに参加するという精神！この精神こそがFFの活動で一番尊い事ではないでしょうか。これはほんの一例ですが、参加者の皆さんは、それぞれにまた、違った体験をされ、心に感じたことも多かったことと思います。実り多い交換でした。

∞ ∞ ∞ 特集1 韓国渡航 ∞ ∞ ∞

## 美しかった韓国

五十嵐 佑子

正直申し込む前には、反日感情など躊躇するものがありました。ソウルの皆様は私達の不安を察してか、「political」なことは私達には関係ないと話題を避けてくれ、救われました。

ステイ先は私だけ一戸建てでした。広い居間で、広いバスルームが1階と2階にあり、トイレが客用として玄関についたアメリカ式の家でした。日曜日には、近くに住む息子家族と娘家族が来て、家長を中心に座布団に座って夕食をとるのです。食後私のために、11歳の孫娘がテコンドーの型を演技してくれ、6歳の孫娘が歌ってくれ、4歳の双子の男の子が、でんぐり返し、それに歌も。同じ歌なのに別の歌に聞こえたのには、皆で大笑い。家族全員で私をもてなしてくれたのには大感激でした。日本ではもうこのような家長の権威の下、毎週末に集まるといような固い家族の結びつきは薄れたのではないのでしょうか。

他に気づいたことは、散歩する多くの女性がスキーマスクのようなもので、日焼けを嫌っていたこと、保育園の子供たちの、8割が男の子、2割が女の子で男女の産み分けが中国と似ていることなどでした。感じたことを羅列しましたが、FFソウルの方達には温かいもてなしに感謝するばかりです。来年の再会を約束してきました。



(青瓦台・大統領官邸前にて)

## 感動のソウル訪問

平井 義明・正子

私共夫婦は初めての韓国訪問でした。当初より楽しみにしていた訪問が期待以上の素晴らしい体験と感動の日々を過ごせたことは感謝しています。ソウルクラブの会長さんのお元気な活動には敬服しましたが会長さんは96歳の日野原重明先生の(新老人会)ソウルでのメンバーでした。

新聞に10月初旬に我々と同じ頃ソウルを訪問された日野原先生の「生まれ変わったソウル市」と題した随筆にソウル市の都市計画の見事さに心を奪われ、同時にとてもうらやましく感じたとの記事を読み私も同感でした。美しく整った中心地、各アパートの広い清潔な住居、近代化された日常生活などは我が家とは比較にならず驚きでした。セラミックでのベットは初めてでした。

ソウルクラブの皆さんの献身的なもてなしをうけ連日ホスト宅に帰宅は11時を過ぎるほど楽しい毎日でした。

乾杯の発声が サンシンー！(あなた) それに答えて ボッチョウー！(素晴らしい) との掛け声で明るいく全員で一献。連夜の酒宴の始まりです。明るい楽しい人々でした。

車窓からの風景も初秋の大和路を彷彿させられてなぜか懐かしい故郷を思いださせてくれたソウルとの交換でした。



(ホームステイの家族と共に)



∞ ∞ ∞ 特集1 韓国渡航 ∞ ∞ ∞

## 戸惑いの日々

橋本 斉子

初日の空港でホストのキムさんは多忙との事で代わりに坂本さんのホストであるパクさんが私を出迎えてくれました。パクさんの家でキムさんを待っていました。夜遅くにキムさんのご主人が迎えに来てくれたのでやっと私のホストの家にたどり着きました。しかし当のキムさんに会うことができず、あいさつも出来ないまま就寝しました。

ホストにあいさつ出来なかったことは非常に残念！！

滞在中ずっとキムさんは忙しい毎日でした。

キムさんとゆっくり話す機会もなく過ぎてしまい、とてもさびしく心残りです。一番ドキドキして不安だったのが、朝ホストの車で送ってもらい一人きりで路上で待っていて下さいと言われた時でした。本当に他のFFの方が私を見つけてくれるのか心配で胸が痛みました。

時間に制約があり、世界遺産などゆっくり見られなかったのが残念でもっと日数があればよかったなあと思います。何故今回に限り期間が短かったのかなあ？！

日本では経験出来ない庶民的で本場の垢すりが出来たことがいい思い出です。とても楽しかったです。

今にして思えば色々な事がありましたが、いい体験ができたことを喜んでおります。毎日親切にいただいたパクさんにはとても感謝しております。ありがとうございました。



垣間見た韓国

坂本 登喜子

韓国は機内での軽食を頂いたらもう着いてしまったという近さ、超モダンな仁川空港には懐かしいお顔が出迎えて下さり私のホストは3年前日本にいらしたパク・ソンブンさんでした。ソウルの街の林立したビルの美しさに圧倒され、彼女のお住まいは広くて快適な17階のアパートメントで翌日から彼女特製の黒豆ジュースが私の朝食、なんせ毎日遅くまで観光と外食で一日が目まぐるしく終わるのです。毎回違う料理を頂き、さすがキムチは必ず登場、それが皆違う味なのです。キムチも最近は専門の冷蔵庫が出来、頻繁には漬けなくなりました。

サウナも体験、台の上でトドのごとく転がされ素裸で恥も外聞もあっちの方に追い遣られ体の錘が取れたようでした。見事に近代的に変身した韓国ですが食文化は風土が育てた唐がらし故か形を変えずに食べ続けられているように感じました。どこか懐かしい韓国のやさしさに引換え一日観光の非武装地帯の見学で未だ解決できない韓国の明と暗をのぞいた気分でした。



(ソウルクラブ会員の個展にて、黄会長と共に)



林區民俗村で 8, Oct. '07

∞ ∞ ∞ 特集2 受け入れ ∞ ∞ ∞

## テキサス州サン・アントニオクラブ受け入れを終えて

交換委員長 堀内美紀子

今回は私自身忙しい日々の中、交換委員長(ED)を引受けましたが委員の皆さんとホストの方々のご協力が無事に交換を終えることが出来ました。アンバサダーの皆さんからはとても楽しく良い交換であったと感謝され、EDとして何よりも嬉しい言葉をいただきました。皆さんのご協力ありがとうございました。

16名のアンバサダーの年齢は81歳から平均70歳代のグループでEDも元気そうな78歳のコニーさんでしたがやはり腰が悪く体調をみながらの一週間でした。フリーデーを三日とりましたのでゲストの皆さんには良かったのではないかと思います。

また、埼玉クラブとして初めてのプログラムだった日光江戸村は大変喜ばれ参加者46名全員が笑いあいの楽しい一日を過ごしました。

催しの最終日、盆栽村では高価な盆栽に目をまわし、ゆっくり歩いて大宮公園のベンチで一休み、小さな日本庭園を散策しながら氷川神社へ参拝、境内には大輪の菊が飾られ、かわいい七五三の晴れ姿にカメラを向けていました。参道から氷川の杜文化館のお庭で揃って記念撮影した後、皆さんでお昼のお弁当をいただきました。

午後の文楽観賞には目が釘付けになり、それぞれお人形と記念写真を撮った後は手作りケーキでさよならパーティーとなりました。そこではお顔だけでも30万円もするお人形を文楽の方のご好意でアンバサダーの皆さんは楽しそうに操作していました。なかには演じる時の特別な高下駄を履き江戸村で見た花魁の真似をするゲストがいて多いに盛り上がりました。参加者の皆さんは楽しいひとときを共にして再会の約束をしていました。

最後に楽しい交換、交流をするにはホスト家庭交換委員会の委員同士の詳細に亙った打ち合わせ会員同士の気配り心配りの大切さを改めて感じました。



(挨拶する日米両ED)



(日光・東照宮)

∞ ∞ ∞ 特集2 受け入れ ∞ ∞ ∞

### 催事行事を通して

野澤明子

- ★木曽路でのウェルカムパーティー・・・手作り名札席、料理の絵をアンバサダーへプレゼントお腹の中に、入ってしまったたくさんの種類の料理も、絵で目で楽しむことが出来て大満足のアンバサダー！
- ★日光バス旅行・・・江戸村が加わり、後部座席のサロンカー仕様のバスの手配、賞品つきのビンゴゲーム、英語付きの歌詞、東照宮の英文説明サロン席で、おしゃべりに盛り上がったデイホストとの交流！6名の非会員の方々の参加！  
忍者、水芸など日本語だけでも声を出して楽しむ様子を、日本人の参加会員もまた爆笑！  
花魁パレードは、印象深かったようで、後日の下駄を履く体験では、花魁の歩き方の再演？で大受け！
- ★文楽鑑賞、フェアウェルティーパーティー・・・手作りケーキ、お菓子でのもてなし、人形遣いの方々の計らいにより、下駄や、人形を手にとり体験  
たくさん手作りケーキを目の前に、今日だけダイエット、別腹は、世界共通！

それぞれの担当の方々が、工夫を凝らして進めてくださいました。私は？催事総括？とは、名ばかりで、力不足により、ホスト、デイホストの方々には、大変ご迷惑をおかけしました。

今、アンバサダーの楽しかったという声を聞かせていただきほっとしているところです。ホストをはじめ、催事担当者、デイホスト、当日参加して下さった皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。



(サン・アントニオクラブのコーラス)



(日光・江戸村)

### 忍者にドキドキ

角田 和江

大宮にバスで到着したアンバサダーの大きなバッグと大きなスーツケースを見てびっくり、我が家のゲストルームは2階、あの荷物を運ぶのは大変と心配しましたが、ゲストのConnieは年齢のわりに（失礼）元気で二人でどうにか運び入れました。最初の夜はお互い様子をみながらの食事、英語の下手な私に彼女はゆっくりと解りやすく話しをしてくださりととても助かりました。

翌日、彼女は早くから目が覚め、部屋から物音がしていたので、私の日課になっているウォーキングに誘ってみました。二人で近くの公園まで歩きました。通学中の生徒に彼女はgood morningと声をかけながら楽しそうでした。こうした日常の体験をする事がFFなのかなと思いました。日光江戸村では、私も始めてなのでワクワク、Connieのお孫さんは日本のまんがで忍者をよく知っているそうです。帰ったら写真を見せると言って楽しそうでした。ホストもゲストも楽しめた一日だったのではないのでしょうか。

ティーパーティのたくさんのケーキがFFメンバーの手作りと聞いて彼女は驚いていました。交換準備をしてくださった方々に感謝！ありがとうございました。あつと言う間の一週間、再会を誓ってのお別れ、笑顔でバスに乗り込むアンバサダーを見送りホットしました。

∞ ∞ ∞ 特集2 受け入れ ∞ ∞ ∞



(川越喜多院にて)



(文楽「三番叟」鑑賞)

### 初めての受入れ

渡辺 妙子

初めての受け入れで、メール、添付写真を拝見し、素晴らしいアンバサダーと、気持ちの高ぶりを感じました。 沢山の趣味とボランティアで毎日走り回って、有意義に過ごされている様子、羨ましかぎりです。 旅馴れていられるようで、必要最小限の荷物、余分な物は持ち歩かないようです。 成る程と唸るばかりです。 とてもいい体験をさせていただきました。 皆様、ご苦労様でした。



(フェアウエル・パーティ)

### 日本文化を楽しむ

竹内 和歌子

来日するまでメールもなかったのでどんなお人かわからず不安でしたが、穏やかで、日本の食事や行事にも関心を持っていることがわかり親しみを感じました。 テレビで相撲を見てカメラで写していましたので、新聞の写真を切り抜き、お渡ししました。 毎日行動をともししているうちに私自身もリラックスしてきました。

反省する面もありますが、無事帰国された由、良かったと思います。 これは、多くの友人のおかげでもあり、皆に感謝です。



(日光・江戸村)

### 喜ばれた朝食

仲澤 幸子

初めての受け入れで、食事のことフリーデイの過ごし方など、とても心配でした。しかしゲストが穏やかな方で、何でも快く対応してくださり、なにか自分達の親（ゲストの方が若いです）と過ごしているような気持ちになってきました。毎日朝食は一緒にしましたので、帰られる際の“I miss your breakfast”この言葉は私がいただいた最高のプレゼントです。



(日光・江戸村)

## 報 告

### 埼玉クラブの新ホームページ

ホームページ管理 (web master) の丸田泰正さんが、リニューアルしてくださっています。ぜひご覧下さい。問合せ欄もできましたのでご利用ください。member欄のパスワードはffsaitama です。

FFIのアドレスも一部変更されました。

FFS (フレンドシップフォース埼玉) [www.h7.dion.ne.jp/%7esaitama/](http://www.h7.dion.ne.jp/%7esaitama/)

FFJ (フレンドシップフォース日本) [www.friendshipforce.jp/](http://www.friendshipforce.jp/)

FFI (フレンドシップフォース国際本部) [www.thefriendshipforce.org](http://www.thefriendshipforce.org)

### 2009年の渡航と受入れについて

10月に実施したアンケートに基づき、2009年の渡航希望地として次の5箇所をFFIに提出しました。( )内は希望数です。

ベルギー (17) オランダ (15) ドイツ (13) ニュージーランド (7) 台湾 (4)

受入れについては、6月に渡航したカナダのFraser Valleyから2009年に訪問したいという申し出がありました。

FFIからマッチング結果が届き次第、会員の皆さまにお知らせいたします。

### さいたま市民活動サポートセンター

オープニングイベントの埼玉クラブの展示は、カラフルでよく目立ち、好評でした。

今後、ミーティングや印刷作業など、クラブの活動に利用させていただこうと思います。

### 11月24日の懇親会とオークション

25名が参加。韓国渡航やサン・アントニオ受入れの感想などを話合ったあと、オークションをしました。次々紹介される品々に前に、おおいに盛り上がりました。お陰さまで、寄付金も22,630円になりました。ご協力ありがとうございました。

### FFの現状と未来——日本大会に出席して

今年の山口大会は、FFI会長夫妻のほか、韓国ソウルクラブの黄会長夫妻、台湾台北クラブからの4名を含む約200名が参加して盛大に行なわれました。

George Brown会長のスピーチは、FFI創立30周年の今年は、世界58国の350のクラブが250余のexchangeを実施。延べ5,000人以上のアンバサダーが交換に参加するという、素晴らしい一年であったこと。また、日本は、アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランドと並ぶFFの“big 8” countriesとして海外から310人のアンバサダーを受入れ、366人が渡航。受入れ、渡航いずれの場合も海外から高く評価されていることなどが報告されました。

今後のフレンドシップの目標としては、多くの友たちを作ると共に、友情を通して文化や考え方の異なる世界に対する理解を深めること。通常のホームステイ交流だけではなく、テーマを持った交換、例えば、教育、語学、ガーデニング、ゴルフなどの文化交流や、人道的な支援を目的とした交換も取り入れていきたい。クラブの運営には、会員の高齢化や政情不安などの困難もあるが、多くの一般市民にアピールできるような、魅力ある活動を進めていって欲しい、と熱く語られました。

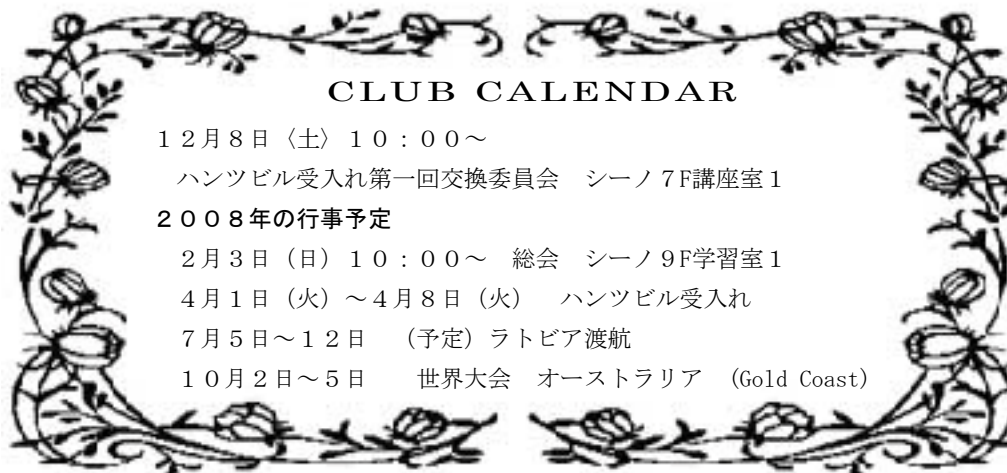
「フレンドシップ」を心から楽しんでいる多くの方たちに触れて、充実した二日間を過ごすことができました。(沼)



「日本大会」 FFIブラウン会長夫妻と共に



バルコ市民活動サポートセンター展示風景



## CLUB CALENDAR

- 12月8日(土) 10:00～  
 ハンツビル受入れ第一回交換委員会 シーノ7F講座室1
- 2008年の行事予定**
- 2月3日(日) 10:00～ 総会 シーノ9F学習室1
- 4月1日(火)～4月8日(火) ハンツビル受入れ
- 7月5日～12日 (予定) ラトビア渡航
- 10月2日～5日 世界大会 オーストラリア (Gold Coast)

### お知らせ

来年の2月3日(日)に総会を開きます。総会后新年会を予定しています。  
 ぜひこの日を空けておいてくださいますよう、お願いいたします。

### 新会員2名紹介

#### さいたま市北区 堀切 京子

私がかねてより、様々な国の人々と交流が図れたらどんなにか素敵なことだろうと思っておりました。そんな時、東京に住む友人からFFのことを知らされました。

国は違っても人の心は同じと日頃から思っていた私でしたので、先日のウエルカムランチ、日光旅行はとても楽しいものでした。初めての参加でしたのに、打ち解けることが出来ましたのは個性豊かな会員の皆様の温かい心によるものと感謝しております。

慌てものの私ですが、どうぞよろしくお願ひします。

#### 北葛飾郡鷺宮町 宮城 利枝子

今から14、5年前の長女が中学生の時に、町の交換留学生としてオーストラリア・パースの生徒を初めて受け入れをしたのが私のホストファミリーのデビューでした。

それから毎年受け入れをしたり、生徒の家を訪問したり楽しく過ごしていました。

現在、子供も成長し、自分自身も長年勤めていた仕事を退職したことをきっかけに再び国際交流に関わりたいと思いました。

趣味はテニスとハイキングです。

#### 編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

編集協力：丸田 泰正

〒331-0815 さいたま市北区大成町4-202

TEL：048-664-2723 FAX：048-664-2723

発行日 2007年12月10日 第69号

FFI <http://www.thefriendshipforce.org>

FFJ <http://www.friendshipforce.jp/>

FFS <http://www.h7.dion.ne.jp/%7esaitama/>